

# 高橋まさかず市長活動報告

VOL.7

■発行日：2021年7月  
■発行元：高橋まさかず後援会

日頃大変お世話になっております。

皆様には、新型感染症拡大防止に向けた取り組みが長期に及んでいるにもかかわらず、大変なご努力とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、平成30年1月31日、皆様のお力で市長に就任させていただいて以来、半年ごとに発行してきた活動報告も第7号となりました。この間、市政に対する様々なご助言とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

この3年半は、市政の舵取り役としての責任の重さを片時も忘ることのない日々の連続でした。特に、直近の2年間は、全国で相次ぐ激甚災害を目の当たりにして、自然災害に対する日ごろの備えの大切さを再認識し、市内を総点検する機会となりました。また、新型感染症というこれまで経験したことのない未曾有の危機に対して、市議会の皆様としっかりと連携しながら、17回という前例のない補正予算を編成し、迅速・的確な対応に努めきました。引き続き、市民の安全・安心を確保し、命と暮らしを守るための活動を最優先課題として、全力で市政運営に取り組んでまいります。

人口減少、少子超高齢社会が進む中、これらの対応と並行してアフターコロナも見据えながら、16万市民が暮らす「ふるさと秦野」の進むべき方向性を明らかにする必要があります。そのため、43年ぶりに都市像を改定し、「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしそうい都市（まち）」を目指す、新総合計画を4月からスタートさせました。

新東名高速道路（秦野区間）の開通を間近に控えた今こそ、都心への交通利便性が高く、丹沢・名水・桜といった魅力あふれる秦野市の優位性を磨き上げる絶好の機会でもあります。特に、「表丹沢魅力づくり構想」の具体化と「小田急4駅にぎわい創造」に力点を置きながら、「ふるさと秦野」が全国屈指の「森林観光都市」になるよう、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。これまで以上に、市民の皆様の様々な声に耳を傾け、一つ一つ丁寧に対応し、都市像に込めた思いを着実に実現してまいりたいと思います。

引き続き、皆様方のご指導・ご支援をよろしくお願ひいたします。

秦野市長 高橋 昌和

## 新型感染症対策 進むワクチン接種！

新型感染症収束のカギを握るワクチン接種。当初は、予約電話がつながらないなど、ご迷惑ご心配をおかけしましたが、医師会や薬剤師会の皆様など、多くの関係者のご理解ご協力のもとに、大きなトラブルもなく、順調に進められています。今後のワクチン供給状況にもよりますが、65歳以上の方は7月末までに、12歳から64歳までの方は10月末までに、概ね接種完了の予定です。希望されるすべての方の早期接種により集団免疫が確保され、一日も早くコロナ禍が収束するよう、全力で取り組んでまいります。



▲集団接種会場

## 12月から中学校給食がスタート —「5つの誓い」—

市長就任時、すぐ取り組まなければならない市政の大きな課題を5つの誓いとして掲げました。具体的には、「地域医療の充実・強化」「中学校給食の完全実施」「教育水準の改善・向上」「小田急4駅周辺にぎわい創造」「新東名・246バイパスの最大活用」です。本年12月開始に向けて準備が着々と進められている中学校給食をはじめとして順調に進んでいるものや、ようやく道筋がつけられたものなど、それぞれの進捗状況は異なりますが、常に5つの誓いを念頭に置きながら、実現に向けて着実に取り組んでいます。



## 新総合計画「はだの2030プラン」を策定！ —10年後の秦野をこんな都市にしたい—

4月からスタートした新総合計画では、新たな都市像「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしそうい都市（まち）」の実現を目指しています。この都市像には、市民共有の財産である「水とみどり」と共生し、その恵みを享受しながら、世界共通の目標であるSDGsの「誰一人取り残さない」という理念も踏まえ、市民一人ひとりが夢や希望をもって、生き生きと暮らし、活躍できるよう願いを込めています。市長就任時にまとめた「秦野みらいづくり構想2018」を反映させた計画であり、その実現に向けて着実に取り組んでまいります。



# 高橋まさかず市長活動報告



【高橋まさかず後援会事務所】

〒257-0012 秦野市西大竹134番地 Tel/Fax.0463-68-3939

令和3年7月 活動報告第7号



高橋まさかず  
takahashi-m.jp